

様式3

指定管理業務 事業評価書(市及び指定管理者作成)

平成27年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立武道館
施設所管課	教育委員会 スポーツ振興課 (内線 652)
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (2年目)

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	4	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	4	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	4	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	4	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	4	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	4	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	4	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	4	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	4	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点／満点)	87 100	75 100

総括	指定管理者の自己評価	幸手市立武道館の認知向上と武道人口の減少に少しでも歯止めを掛けることを目的として、幸手市武道連絡協議会加盟全団体様にご協力を頂き、初心者向け無料体験会を6月～7月にかけて全64回開催しました。結果、述べ152名の方々にご参加頂き、その中から各武道団体様へ11名の方々が入会されるなど、初めての試みとしては大きな成果を上げることが出来ました。その他、合気道、太極拳、なぎなたの初心者教室、スポーツ吹き矢、柔道場の無料開放など、積極的な事業展開を行なうことで、少林寺の休部、剣道、空手、弓道などのご利用人数が大きく減少する中で、利用者数は30,154名(対前年比+3名)の結果を出すことが出来ました。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。既存団体の活動休止や会員数の減少があり、館の利用者数も減少傾向にある中、新規来館者を獲得するため、武道館の認知度向上に向けた広報活動を積極的に務めていた。自主事業においては、初心者向けの体験を充実させ新規利用の促進を図った。幸手市武道館連絡協議会と連携して「チャレンジBUDO」を開催し、多数の参加者があり団体への入会者もあったという相乗効果をあげたことについて評価できる。

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)